

振り込め詐欺等発生月報

* 1月中の受理件数 *

振り込め詐欺 6件
振り込め類似詐欺 0件

平成30年1月中
熊本県警察本部
生活安全企画課

1 振り込め詐欺

(1) 受理状況

番号	発生種別	発生日	受理日	被害額 (約万円)	手段	被害者 性別	被害者 年齢
①	オレオレ	平成29年12月22日	1月16日	100	手交	女性	71
②	オレオレ	平成29年12月22日	1月19日	203	手交	女性	75
③	架空請求	平成29年6月16・17日	1月20日	65	電子マネー	男性	44
④	オレオレ (未遂)	平成30年1月22日	1月22日	0	手交	女性	68
⑤	オレオレ	平成30年1月18日	1月23日	300	手交	女性	76
⑥	オレオレ	平成30年1月17日	1月29日	キャッシュカード2枚 (後に80万円払出)	手交	女性	77

(2) 被害の概要

①	被害者方に「ばあちゃん」旨の電話がかかり、声の感じから被害者が孫と思い込み、「のどにポリープができた。病院に行き鞆を病院に忘れ、鞆がなくなり鞆に会社の通帳が入っていて、今日納める700万円がある。いくらか手元にある。」旨の電話があり、上司と名乗る男も電話に出て、金融機関で現金100万円を準備し、自宅付近まで現金を受け取りに来た上司の息子と名乗る男に現金100万円入りの紙袋を手渡し、だまし取られたものである。
②	被害者方に「もしもしばあちゃん」旨の電話がかかり、声の感じから孫と思い込み、会話したところ、「喉にポリープができ、病院で検査を受けた。病院で自分の鞆を忘れ、中に会社の大事な書類が入っており、自分の財布や携帯電話も入っていた。」旨や「書類をなくしたことで会社に大きな損害を与えてしまい、損害分のお金を支払わなくてはならない。200万円出してくれないかな。」旨の電話が架かり、現金を準備し、その後、久留米駅の落とし物係と名乗る男から「鞆が見つかった」旨の電話があり、その後、孫と名乗る男から「鞆を受け取りに行くので上司の息子がお金を受け取りに行く。」旨の電話があり、準備した現金200万円と小遣い3万円の合計203万円を自宅付近の路上において、上司の息子と名乗る男に手渡し、だまし取られたものである。
③	被害者の携帯電話に「有料サイト代金が未納。法的手続きに移行」旨のショートメールが届き、記載された電話番号に架電したところ、45万円が未納となっており、コンビニで電子マネーを購入し支払うよう指示され、コンビニ2店舗で電子マネー45万円相当を購入し、記号番号を電話で伝えるなどし、相当額をだまし取られ、翌日も、「他にも未納料金があった。電子マネーを買って20万円支払ってもらいたい」旨言われ、コンビニで電子マネー20万円相当を購入し、記号番号を伝えるなどしてだまし取られ、合計65万円をだまし取られたものである。
④	被害者方に「俺だけど、喉にポリープができた。待合室に置いていた仕事用のバッグを盗まれた。バッグの中にパソコンや個人情報が入った書類が入っていた。携帯電話も一緒に盗まれたから携帯電話には架けないでほしい。このことは誰にも言わないで」旨の電話があり、当初、長男と信じて話しをしていたが、詳しく話しを聞くため長男の自宅に電話したところ、長男が在宅しており、オレオレ詐欺と見破り、警察に通報、だまされたふり作戦を実施し、警察官により詐欺未遂の現行犯人として逮捕したものの。
⑤	被害者方に「母さん、僕だけど」旨の電話が架かり、被害者が息子と思い込みその後の会話を続け、「喉にポリープができていて。バッグを待合室に置き忘れ、バッグがなくなった。バッグには、財布や携帯電話、書類や得意先の会社の小切手も入っていた。上司に伝えたところ、弁済しなければという話になり、金策してもらっているが300万円足りない。用意できないだろうか。嫁さんにもこのことは言わないで。」旨言われ、300万円を準備する旨答え、金融機関で現金300万円を準備し、その後、亡くしたバッグが見つかった旨の電話が遺失物管理センターの職員と名乗る者からあり、バッグが見つかった旨言われ、息子と名乗る男に伝え、息子と名乗る男から「相手の会社が今日中に小切手分の代金を支払ってもらわないと困ると言っている。」旨言われ、さらに「上司のヤマダさんの実家が熊本にあり、上司の息子に現金とキャッシュカードを渡してもらいたい」旨申し向けられるも、キャッシュカードの交付は断り、現金のみを交付する旨答え、自宅付近の公園駐車場において、上司の息子と名乗る男に現金300万円を手渡し、だまし取られたものである。
⑥	被害者方に孫の名前を名乗る男から「喉にポリープができていた。待合室に鞆を置いたままにしていたら鞆がなくなっていた。鞆には書類や小切手、携帯電話が入っていた。携帯電話に電話したら犯人につながるから電話しないで」旨の電話があり、その後、落とし物コールセンターと名乗る女からも落とし物が届いている旨の電話があり、さらに孫と名乗る男から「お金が必要になった。いくら用意できる」旨の電話があり、200万円なら用意できる旨答えると、「お金をおろすと途中で落とされた時に大変だからキャッシュカードを預かっていい」旨の電話があり、被害者がこれを了承し、被害者方付近路上において、上司の息子と名乗る男にキャッシュカード2枚在中の封筒を手渡し、だまし取られたものである。その後、孫と名乗る男に暗証番号を伝え、2枚のキャッシュカードが使用され80万円が払い出されている。

2 振り込み類似詐欺

(1) 受理状況

発生種別	発生日	受理日	被害額 (約万円)	手段	被害者 性別	被害者 年齢
なし						

(2) 被害の概要

なし

3 振り込み詐欺等累計

種別／区分	認知件数		増減数	増減率	被害総額(円)		増減額	増減率
	H30.1	H29.1			H30.1	H29.1		
振り込み詐欺等	6	10	-4	-40.0%	7,480,000	18,165,060	-10,685,060	-58.8%
振り込み詐欺	6	10	-4	-40.0%	7,480,000	18,165,060	-10,685,060	-58.8%
オレオレ	5	4	1	25.0%	6,830,000	14,000,000	-7,170,000	-51.2%
架空請求	1	2	-1	-50.0%	650,000	2,515,000	-1,865,000	-74.2%
融資保証金	0	2	-2	-100.0%	0	155,000	-155,000	-100.0%
還付金等	0	2	-2	-100.0%	0	1,495,060	-1,495,060	-100.0%
振り込み類似詐欺	0	0	0	-	0	0	0	-
金融商品等取引	0	0	0	-	0	0	0	-
交際あっせん	0	0	0	-	0	0	0	-
ギャンブル	0	0	0	-	0	0	0	-
その他	0	0	0	-	0	0	0	-

※ 被害額は、キャッシュカード詐欺後のATM引出(窃取)額を含む